

# 2020年3月期 第3四半期 決算実績 概況資料

2020年2月6日

株式会社西武ホールディングス（9024）  
<http://www.seibuholdings.co.jp/>

# I. エグゼクティブ・サマリー

P2

II. 2020年3月期 第3四半期までの主な取り組み P6

III. セグメント情報及び営業指標 P9

IV. 決算実績詳細 P22

V. 2020年3月期 連結業績予想 P26

# 2020年3月期 第3四半期 決算実績

(金額単位：億円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)	
営業収益	4,216	4,326	+109	+2.6%
営業利益	588	594	+6	+1.2%
償却前営業利益 <sup>※</sup>	986	1,018	+31	+3.2%
経常利益	526	533	+7	+1.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	363	368	+4	+1.3%

※償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

## 決算実績ポイント

### ■ 営業収益

台風19号などの自然災害の影響があったものの、ホテル業におけるRevPARの上昇、ハワイ事業におけるホテルのRevPAR上昇、分譲マンション「アンヴィーネ 保谷」の引渡し、鉄道業における旅客運輸収入の増加、西武ライオンズの観客動員数の増加などにより増収

▶ 3ページ

### ■ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

台風19号などの自然災害の影響があったものの、増収により増益

▶ 4・22・23ページ

#### <西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前年同期比+1.3% (定期+1.7%、定期外+1.0%)

▶ 10ページ

#### <ホテル業>

RevPAR 13,055円 (前年同期比+3.1%)

シティ 14,317円 (同+4.3%)、リゾート 10,417円 (同△0.1%)

▶ 12ページ

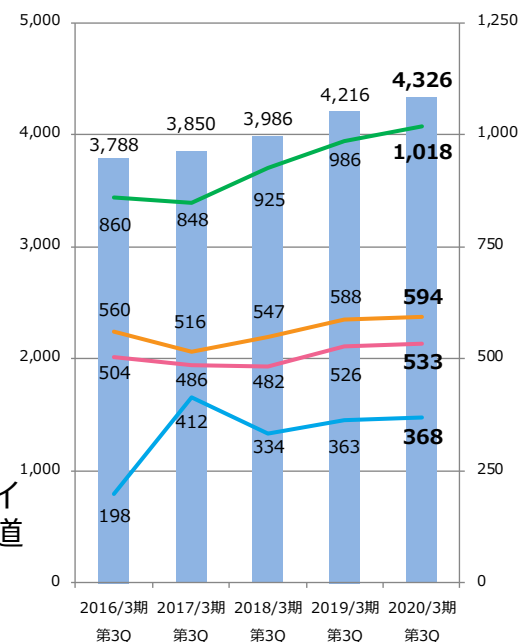
### ■ 業績予想

2020年3月期通期の連結業績予想を下方修正いたしました

▶ 26ページ

## 業績の推移

(金額単位：億円)



■ 営業収益 (左軸)

■ 営業利益 (右軸)

■ 償却前営業利益 (右軸)

■ 経常利益 (右軸)

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益 (右軸)

# セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	1,227	1,238	+11	+0.9%	鉄道業において、雇用情勢の堅調な推移により定期旅客運輸収入が増加したことや、特急等の料金収入の増加、ムーミンバレーパークの開業、メットライフドームでのコンサート開催数の増加などにより定期外旅客運輸収入が増加したことなどにより増収
ホテル・レジャー事業	1,656	1,688	+32	+2.0%	台風19号などの自然災害の影響があったものの、大型連休の行楽需要やラグビーワールドカップ開催に伴う需要の取込みなどによるホテル業のRevPAR上昇および食堂部門の増収、StayWell社において前期に事業取得したABホテルズLtdの収益寄与、プリンス パケーション クラブの開業などにより増収
不動産事業	482	509	+26	+5.6%	分譲マンション「アンヴィーネ 保谷」の引渡しや、ダイヤゲート池袋の開業などにより増収
建設事業	755	763	+8	+1.1%	前年同期にあった大型のリノベーション工事がなくなったものの、民間住宅工事や造園請負工事の増加のほか、建材の仕入販売の増加などにより増収
ハワイ事業	139	166	+26	+19.1%	前期にウェスティンブランドに加盟し、リニューアルオープンしたウェスティン ハプナ ビーチリゾートが収益向上に寄与したほか、プリンス ワイキキ、マウナ ケア ビーチ ホテルにおけるRevPAR上昇および飲食部門の客数増加などにより増収
その他	346	353	+7	+2.1%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施や好調なチーム成績を背景に観客動員数が増加したほか、メットライフドームにおけるコンサート等の貸会場収入が増加したことなどにより増収
調整額	△ 392	△ 394	△ 2	—	
連結数値	4,216	4,326	+109	+2.6%	

# セグメント別営業利益・償却前営業利益

## ■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	229	229	+0	+0.1%	増収による増益があったものの、鉄道業における人件費や、一般管理費が増加したことなどによりほぼ横ばい
ホテル・レジャー事業	153	140	△12	△8.4%	ホテル業の売上総利益が増加したものの、販管費の増加などにより減益
不動産事業	150	150	+0	+0.1%	増収による増益があったものの、ダイヤゲート池袋にかかる減価償却費の計上などによりほぼ横ばい
建設事業	36	35	△1	△4.0%	建設業における間接工事原価や一般管理費の増加などにより減益
ハワイ事業	△11	2	+14	—	増収により損益が改善
その他	25	27	+1	+6.8%	増収による増益
調整額	4	9	+4	+95.5%	
<b>連結数値</b>	<b>588</b>	<b>594</b>	<b>+6</b>	<b>+1.2%</b>	

## ■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	388	390	+1	+0.4%	
ホテル・レジャー事業	274	267	△7	△2.6%	
不動産事業	226	238	+11	+5.2%	
建設事業	39	38	△1	△3.2%	
ハワイ事業	7	23	+16	+233.7%	
その他	48	52	+3	+8.3%	
調整額	1	8	+6	+417.8%	
<b>連結数値</b>	<b>986</b>	<b>1,018</b>	<b>+31</b>	<b>+3.2%</b>	

I. エグゼクティブ・サマリー P2

**II. 2020年3月期 第3四半期までの  
主な取り組み P6**

III. セグメント情報及び営業指標 P9

IV. 決算実績詳細 P22

V. 2020年3月期 連結業績予想 P26

## 2020年3月期 第3四半期までの主な取り組み

### 全体

- ・コーポレート・ガバナンス強化の観点から、取締役に対する新たな株式報酬制度を導入（2019年6月21日）
- ・新規事業アイデア公募プログラム「SWING OPEN」始動（2019年10月）
- ・環境負荷低減に向けた新たな取り組みを進めるため、西武グループ環境方針を策定（2019年11月1日）
- ・新型省エネ車両の導入および太陽光発電所建設事業の一部の資金調達においてグリーンボンド（ホールセール債）を発行（2019年12月）

### 都市交通・沿線事業

- ・西武新宿駅のリニューアル工事が完成し、西武鉄道では2カ所目の訪日外国人向け観光案内所オープン（2019年4月1日）
- ・西武鉄道沿線レジャー施設（としまえん、西武園ゆうえんちなど）で、使い捨てプラスチック製ストローを順次廃止（2019年5月下旬以降）
- ・傘のシェアリングサービス「アイカサ™」の試験導入を実施（2019年9月）
- ・001系「Laview」がグッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）を受賞（2019年10月31日）
- ・練馬駅においてホームドアの使用を開始（2019年11月5日より順次）
- ・訪日外国人のお客さまに対してタイムリーかつ的確なご案内を実現するため、AI通訳機「POCKETALK®（ポケットーク）」を導入（2019年12月）
- ・西武鉄道が株式会社 刀と協業し、西武園ゆうえんちのリニューアルを決定（2021年開業予定）

### ホテル・レジャー事業

- ・世界的な問題となっている食品ロスに対し、「食品ロス削減に向けた実施計画」を策定（2019年5月16日）
- ・初の会員制リゾートとして、「プリンス バケーション クラブ 軽井沢浅間」、「プリンス バケーション クラブ ヴィラ軽井沢浅間」を開業（2019年7月8日）

# 2020年3月期 第3四半期までの主な取り組み

## ホテル・レジャー事業

- ・伊豆長岡温泉 三養荘のバリューアップを実施。別館客室8室は会員制旅館「プリンス バケーション クラブ 三養荘」としてリニューアル（2019年7月17日開業）
- ・グローバルラグジュアリーブランド第1号店「The Prince Akatoki London」を開業（2019年9月16日）。また、StayWell社がベトナムに初進出し、2ホテルを開業するなど海外でのホテル展開を推進（2019年12月5日）
- ・次世代型宿泊特化ホテル「プリンス スマート イン」2020年夏に熱海、2021年夏に京都での開業を決定
- ・横浜八景島が参画する台湾桃園地区水族館名称を「Xpark」に決定（2020年夏開業予定）

## 不動産事業

- ・ダイヤゲート池袋が開業（2019年4月）
- ・東長崎駅南口に賃貸住宅・商業施設・保育所からなる複合施設竣工  
沿線で計6カ所目となる駅チカ賃貸住宅「エミリブ東長崎」入居開始（2019年9月）
- ・当社グループで初めてとなるシェアオフィス事業「emiffice（エミフィス）」の1号物件として「エミフィス練馬」を練馬駅構内にオープン（2019年9月2日）
- ・拝島駅橋上店舗のリニューアルオープン（2019年11月1日）
- ・桜台駅に沿線17カ所目となる「エミオ桜台」を開業（2019年12月11日）

## その他

- ・メットライフドームエリア改修計画を推進。「ライオンズ チームストア フラッグス」開業、「新室内練習場・若獅子寮」「オフィス棟」使用開始（2019年7月）
- ・埼玉西武ライオンズが2年連続23度目のパシフィック・リーグ優勝（2019年9月）



I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2020年3月期 第3四半期までの主な取り組み P6

**III. セグメント情報及び営業指標 P9**

IV. 決算実績詳細 P22

V. 2020年3月期 連結業績予想 P26

# 都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	122,748	123,873	+1,125	+0.9%	
鉄道業	79,843	81,489	+1,646	+2.1%	鉄道業において、定期・定期外ともに旅客運輸収入が増加したことなどにより増収
バス業	19,974	19,929	△45	△0.2%	路線バスにおいて定期券収入が堅調に推移したものの、高速バスの一部路線の運行から撤退したことなどにより減収
沿線レジャー業	17,187	16,695	△492	△2.9%	西武園ゆうえんちなどの沿線レジャー施設が天候不順の影響を受けたことや、狭山スキー場の営業休止などにより減収
その他	5,742	5,759	+17	+0.3%	横浜アリーナの稼働日数が増加したことなどにより増収
営業利益	22,906	22,926	+19	+0.1%	増収による増益があったものの、鉄道業における人件費や、一般管理費が増加したことなどによりほぼ横ばい
償却前営業利益	38,877	39,020	+142	+0.4%	【西武鉄道 鉄道事業部門費用】(対前年同期増減) ・人件費 20,431 (+563) ・修繕費 5,103 (△122) ・動力費 4,712 (+3) ・減価償却費 11,872 (+42) ・固定資産除却費 371 (+90)

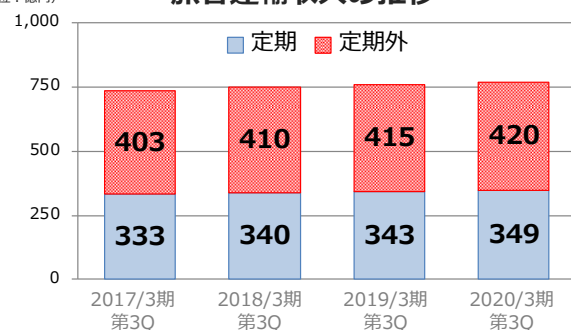
# 都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

## 輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2019/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2020/3期 第3Q	対前年同期 増減率
輸送人員	定期	307,539	+1.9%	316,600	+1.0%	323,118	+2.1%
	定期外	183,513	+1.1%	187,860	+1.2%	189,096	+0.7%
	計	491,053	+1.6%	504,460	+1.1%	512,215	+1.5%
旅客運輸 収入	定期	33,348	+2.0%	34,345	+1.0%	34,931	+1.7%
	定期外	40,343	+1.7%	41,598	+1.4%	42,016	+1.0%
	計	73,692	+1.8%	75,944	+1.2%	76,947	+1.3%
運輸雑収	2,987	2,986	△ 0.0%	2,990	+0.1%	2,988	△ 0.1%
収入合計	76,680	78,011	+1.7%	78,934	+1.2%	79,935	+1.3%

（単位：億円） 旅客運輸収入の推移



2020年2月6日

Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

### ■ 定期

雇用情勢の堅調な推移などにより増加

### ■ 定期外

台風19号の影響による計画運休があったものの、特急等の料金収入の増加、ムーミンバレーパークの開業、メットライフドームでのコンサート開催数の増加、大型連休の行楽需要の取込みなどにより増加

# ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	165,646	168,883	+3,236	+2.0%	
ホテル業（シティ）	97,418	100,255	+2,837	+2.9%	大型連休の行楽需要やラグビーワールドカップ開催に伴う需要の取込みなどによるRevPARの上昇、食堂部門の客数の増加などにより増収
ホテル業（リゾート）	31,308	31,487	+178	+0.6%	台風15号・19号などの自然災害の影響があったものの、大型連休の行楽需要の取込みや、プリンスバケーションクラブの開業などにより増収
ゴルフ場業	11,048	10,712	△336	△3.0%	台風19号などの自然災害の影響により減収
その他	25,869	26,427	+558	+2.2%	StayWell社において前期に事業取得したABホテルズLtdの収益寄与などにより増収 【StayWell社 ホテル運営数】 2020/3期3Q末時点 25、2019/3期3Q末時点 24
営業利益	15,369	14,074	△1,295	△8.4%	ホテル業の売上総利益が増加したものの、販管費の増加などにより減益
償却前営業利益	27,489	26,768	△720	△2.6%	

# ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

## ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

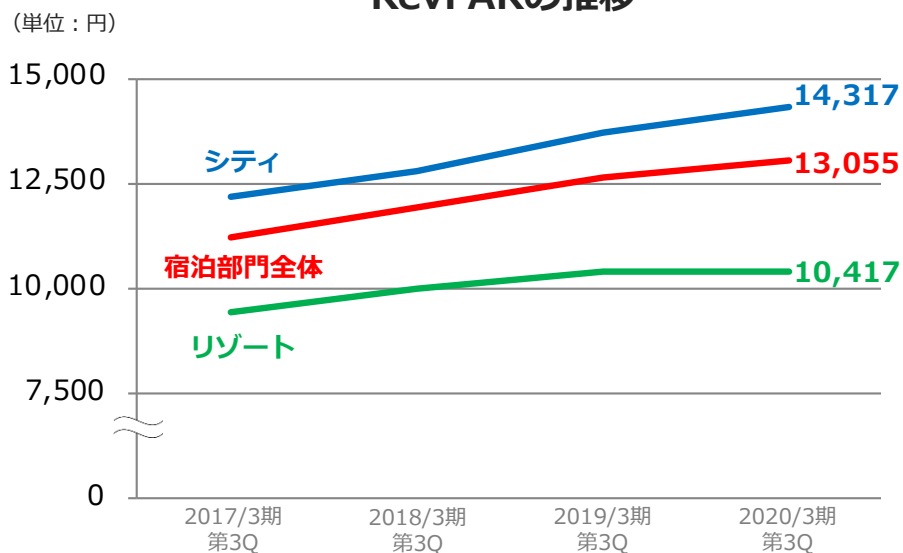
(RevPAR・平均販売室料：円)

		2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2019/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2020/3期 第3Q	対前年同期 増減率
RevPAR	シティ	12,168	12,821	+5.4%	13,721	+7.0%	14,317	+4.3%
	高輪・品川エリア	13,073	13,263	+1.5%	13,942	+5.1%	14,200	+1.8%
	リゾート	9,449	10,017	+6.0%	10,430	+4.1%	10,417	△ 0.1%
	軽井沢エリア	19,848	21,174	+6.7%	21,813	+3.0%	21,569	△ 1.1%
	宿泊部門全体	11,228	11,917	+6.1%	12,664	+6.3%	13,055	+3.1%
平均販売室料	シティ	14,986	15,318	+2.2%	15,949	+4.1%	16,380	+2.7%
	高輪・品川エリア	14,929	14,954	+0.2%	15,462	+3.4%	15,789	+2.1%
	リゾート	16,453	16,400	△ 0.3%	16,681	+1.7%	16,397	△ 1.7%
	軽井沢エリア	31,476	32,756	+4.1%	30,975	△ 5.4%	29,880	△ 3.5%
	宿泊部門全体	15,385	15,597	+1.4%	16,136	+3.5%	16,385	+1.5%
客室稼働率	シティ	81.2%	83.7%	+2.5pt	86.0%	+2.3pt	87.4%	+1.4pt
	高輪・品川エリア	87.6%	88.7%	+1.1pt	90.2%	+1.5pt	89.9%	△ 0.2pt
	リゾート	57.4%	61.1%	+3.6pt	62.5%	+1.5pt	63.5%	+1.0pt
	軽井沢エリア	63.1%	64.6%	+1.6pt	70.4%	+5.8pt	72.2%	+1.8pt
	宿泊部門全体	73.0%	76.4%	+3.4pt	78.5%	+2.1pt	79.7%	+1.2pt

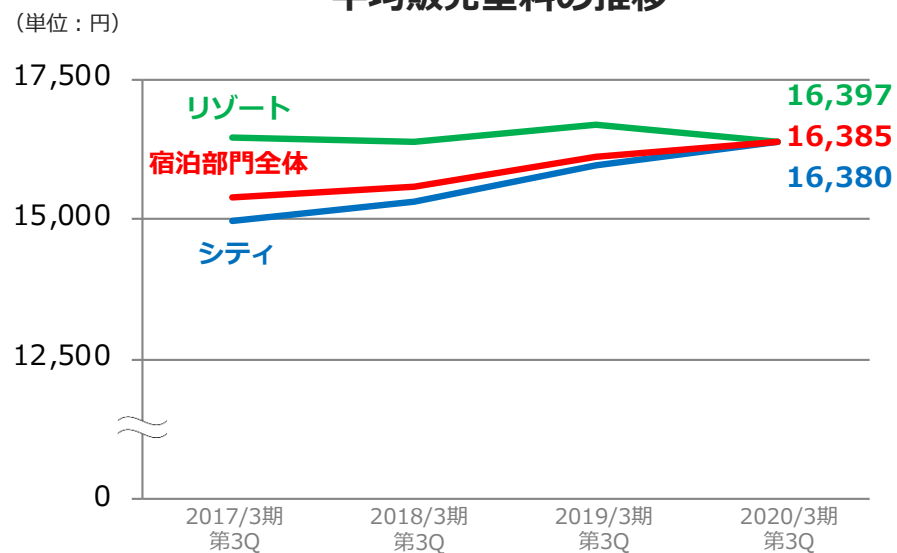
(注) 高輪・品川エリア：ザ・プリンス さくらタワー東京、グランドプリンスホテル高輪、グランドプリンスホテル新高輪、品川プリンスホテル  
 軽井沢エリア：ザ・プリンス 軽井沢、ザ・プリンス ヴィラ軽井沢、軽井沢プリンスホテル

# ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

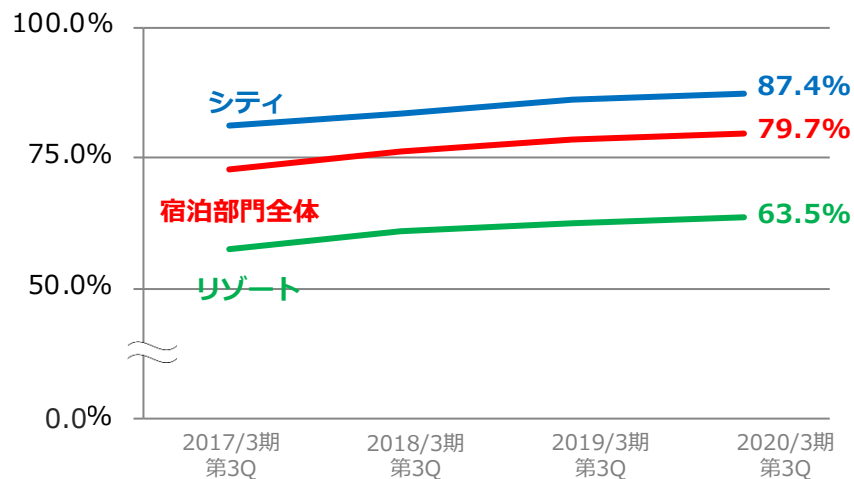
## RevPARの推移



## 平均販売室料の推移



## 客室稼働率の推移

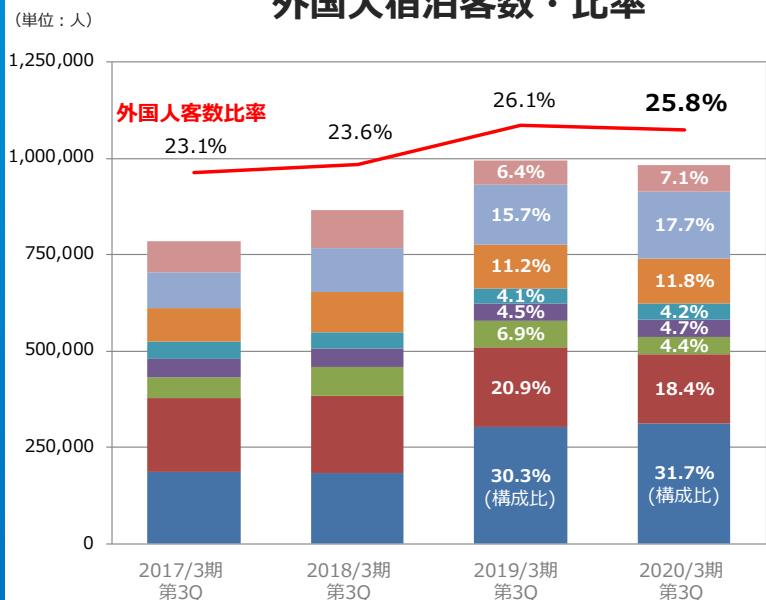


# ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向 (宿泊客数・室料収入)

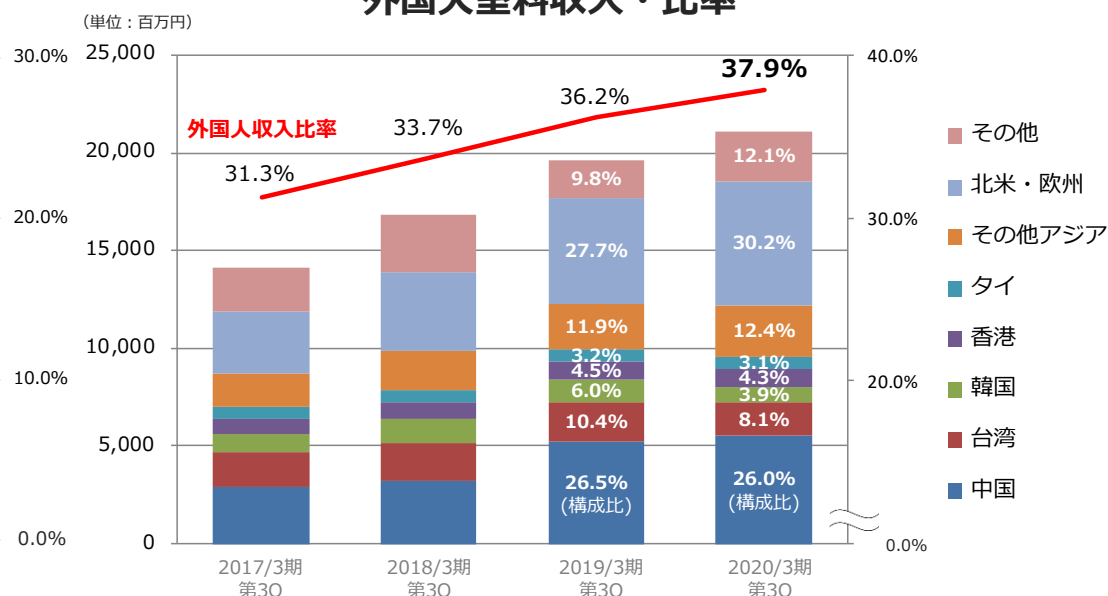
(人員単位：人、金額単位：百万円)

		2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2019/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2020/3期 第3Q	対前年同期 増減率
宿泊客数 の内訳	邦人客	2,608,091	2,798,894	+ 7.3%	2,820,470	+ 0.8%	2,831,299	+ 0.4%
	外国人客	783,573	866,607	+ 10.6%	995,252	+ 14.8%	983,309	△ 1.2%
	計	3,391,664	3,665,501	+ 8.1%	3,815,722	+ 4.1%	3,814,608	△ 0.0%
室料収入	外国人客	14,111	16,842	+ 19.3%	19,612	+ 16.4%	21,108	+ 7.6%

## 外国人宿泊客数・比率



## 外国人室料収入・比率

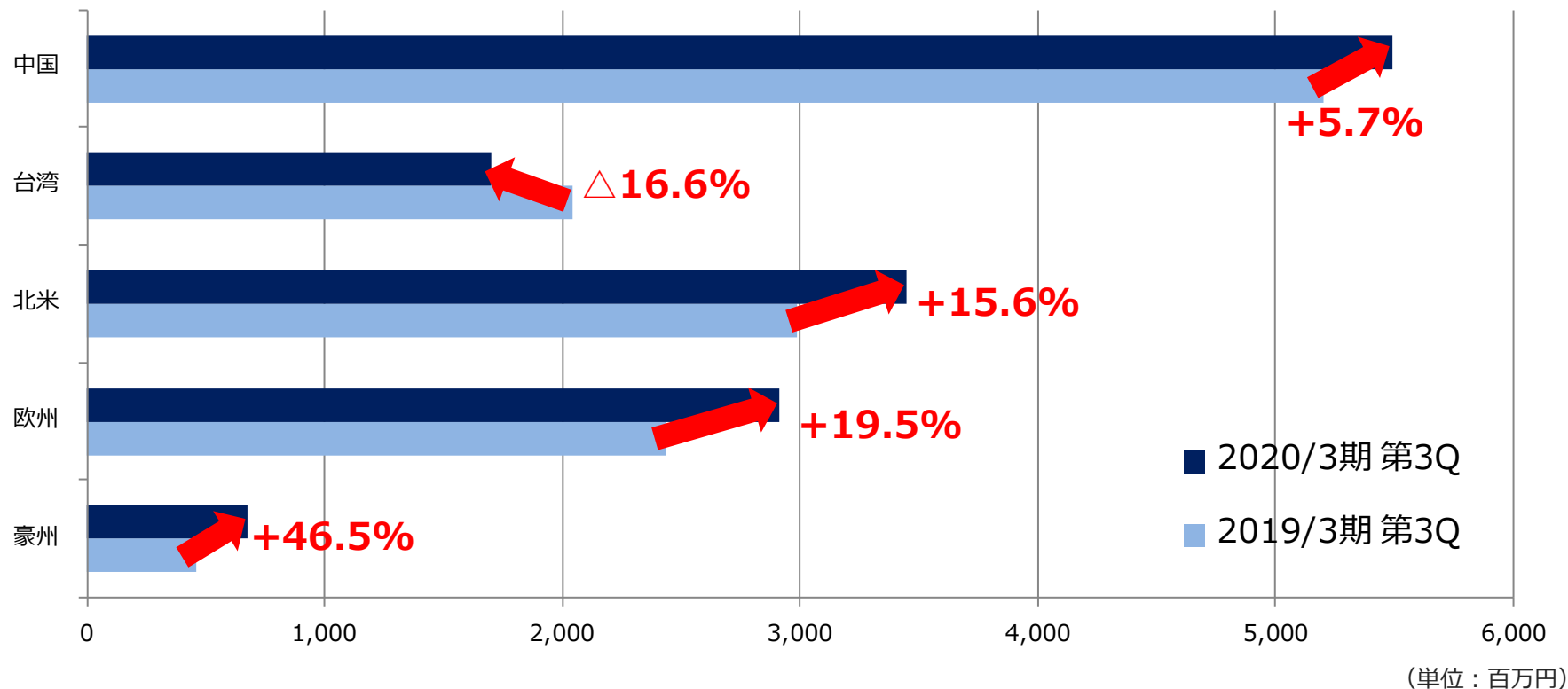


2020年2月6日

Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

# ホテル・レジャー事業 マーケットチェンジの状況

## ■ 主な国・地域の外国人室料収入

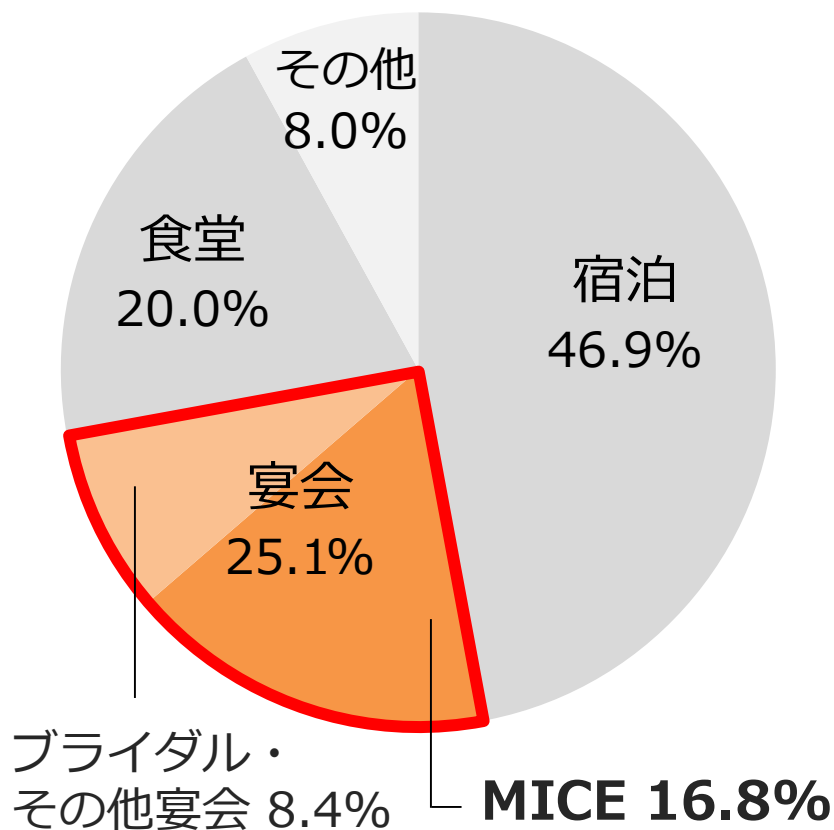


北米、欧州、豪州など、より単価の高い地域は引き続き増加。台湾など東アジアの一部地域が減少。

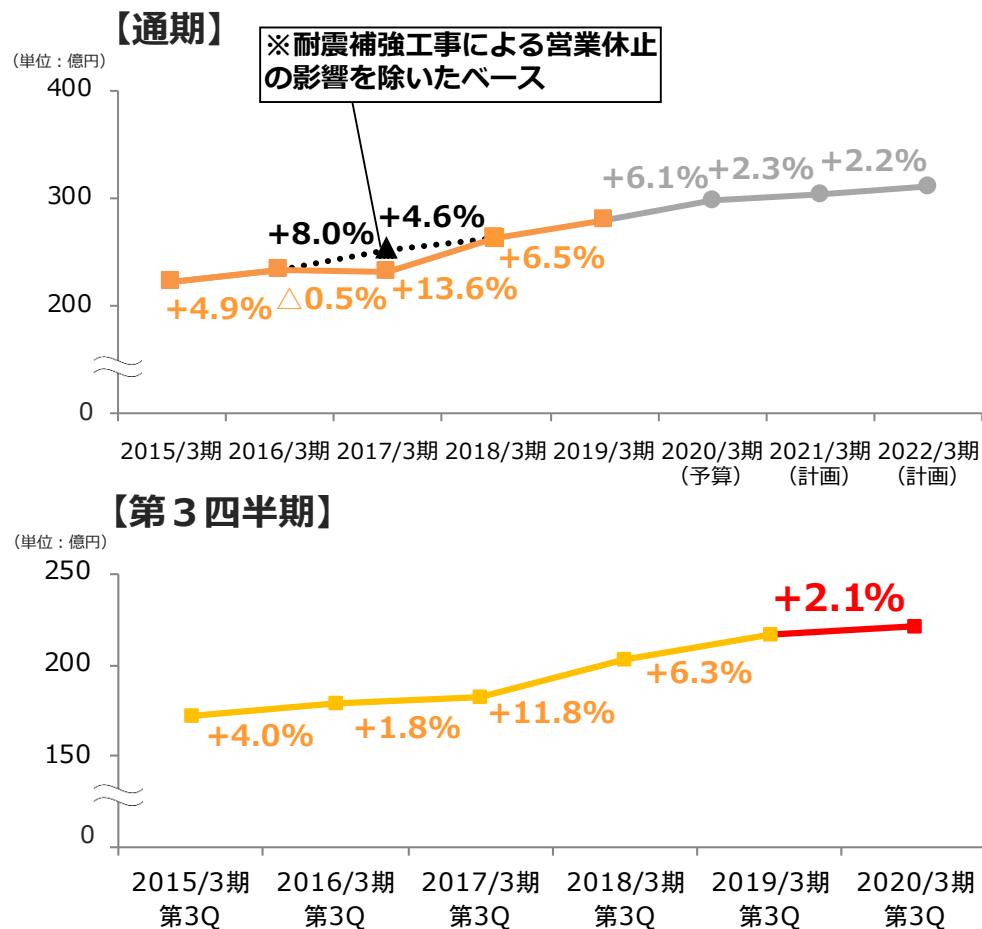


# ホテル・レジャー事業 MICEの状況

## ■ ホテル業の売上高構成比 (2020年3月期 第3Q)



## ■ MICE売上高の推移



一部の業界においてミーティング需要の減少が見られ、伸び率が鈍化

# 不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	48,277	50,969	+2,692	+5.6%	
不動産賃貸業	35,243	36,662	+1,418	+4.0%	ダイヤゲート池袋の開業などにより増収
その他	13,033	14,307	+1,273	+9.8%	前年同期にあった保険の販売代理手数料収入がなくなったものの、分譲マンション「アンヴィーネ保谷」の引渡しなどにより増収
営業利益	15,008	15,019	+11	+0.1%	増収による増益があったものの、ダイヤゲート池袋にかかる減価償却費の計上などによりほぼ横ばい
償却前営業利益	22,642	23,821	+1,179	+5.2%	増収による増益

(面積：千㎡)

		2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期	2019/3期 第3Q	対前年同期	2020/3期 第3Q	対前年同期
建物賃貸物件	商業施設	237	236	△ 1	244	+7	246	+2
の期末貸付面積	オフィス・住宅	161	171	+9	172	+0	204	+32
建物賃貸物件	商業施設	0.7%	1.2%	+0.5pt	1.0%	△ 0.2pt	1.0%	+0.0pt
の期末空室率	オフィス・住宅	2.3%	0.5%	△ 1.8pt	1.9%	+1.4pt	3.6%	+1.7pt

(注) 土地の賃貸は含んでおりません

# 建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	75,589	76,389	+800	+1.1%	
建設業	55,370	53,706	△1,664	△3.0%	民間住宅工事が増加したものの、前年同期にあった大型のリノベーション工事がなくなったことなどにより減収
その他	20,218	22,683	+2,464	+12.2%	建材の仕入販売の増加、造園請負工事の増加などにより増収
営業利益	3,656	3,510	△146	△4.0%	
償却前営業利益	3,964	3,836	△128	△3.2%	建設業における間接工事原価や一般管理費の増加などにより減益

## 建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期	2019/3期 第3Q	対前年同期	2020/3期 第3Q	対前年同期
期首繰越高	99,069	89,755	△9,313	100,542	+10,787	88,975	△11,567
期中受注高	57,690	58,331	+640	50,852	△7,479	45,568	△5,283
期末繰越高	99,685	95,839	△3,846	96,308	+469	81,107	△15,201

# ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	13,943	16,601	+2,658	+19.1%	前期にウェスティンブランドに加盟し、リニューアルオープンしたウェスティンハプナビーチリゾートが収益向上に寄与したほか、プリンスワイキキ、マウナケアビーチホテルにおけるRevPAR上昇および飲食部門の客数増加などにより増収
営業利益	△ 1,194	269	+1,463	—	増収により損益が改善
償却前営業利益	702	2,342	+1,640	+233.7%	

## ホテルの営業指標

	2017/3期 第3Q	2018/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2019/3期 第3Q	対前年同期 増減率	2020/3期 第3Q	対前年同期 増減率
RevPAR (円)	19,100	18,523	△ 3.0%	25,503	+ 37.7%	31,401	+ 23.1%
RevPAR (米ドル)	173.63	176.41	+ 1.6%	221.77	+ 25.7%	273.06	+ 23.1%
平均販売室料 (円)	27,149	29,832	+ 9.9%	35,322	+ 18.4%	38,424	+ 8.8%
平均販売室料 (米ドル)	246.81	284.11	+ 15.1%	307.15	+ 8.1%	334.12	+ 8.8%
客室稼働率	70.4%	62.1%	△ 8.3pt	72.2%	+10.1pt	81.7%	+9.5pt

## その他 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	34,661	35,384	+722	+2.1%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施や好調なチーム成績を背景に観客動員数が増加したほか、メットライフドームにおけるコンサート等の貸会場収入が増加したことなどにより増収
営業利益	2,586	2,761	+174	+6.8%	増収による増益
償却前営業利益	4,838	5,238	+399	+8.3%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2020年3月期 第3四半期までの主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P9
<b>IV. 決算実績詳細</b>	<b>P22</b>
V. 2020年3月期 連結業績予想	P26

# 連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期	摘要
営業収益	421,662	432,626	+10,963	都市交通・沿線：+11億円、ホテル・レジャー：+32億円、 不動産：+26億円、建設：+8億円、ハワイ：+26億円、 その他：+7億円、調整額：△2億円
営業利益	58,807	59,488	+680	都市交通・沿線：+0億円、ホテル・レジャー：△12億円、 不動産：+0億円、建設：△1億円、ハワイ：+14億円、 その他：+1億円、調整額：+4億円
営業外収益	2,429	2,252	△177	
営業外費用	8,618	8,412	△205	
経常利益	52,618	53,327	+709	
特別利益	832	770	△62	
特別損失	3,544	4,265	+720	当期：災害損失引当金繰入額 22億円、災害による損失 2億円 前期：投資有価証券評価損 11億円
税金等調整前四半期純利益	49,906	49,832	△73	
法人税等	13,092	12,511	△580	
四半期純利益	36,814	37,321	+507	
非支配株主に帰属する四半期純利益	455	491	+35	
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,358	36,829	+471	

# 営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第3Q	2020/3期 第3Q	対前年同期	摘要
営業利益	58,807	59,488	+680	
営業外収益	2,429	2,252	△177	
受取利息・配当金	912	888	△24	
バス路線運行維持費補助金	384	363	△20	
その他営業外収益	1,133	1,000	△132	
営業外費用	8,618	8,412	△205	
支払利息	7,656	7,537	△119	
持分法による投資損失	78	88	+10	
その他営業外費用	882	786	△95	
経常利益	52,618	53,327	+709	
特別利益	832	770	△62	
固定資産売却益	337	258	△79	
工事負担金等受入額	132	278	+146	
補助金収入	65	51	△13	
投資有価証券売却益	—	10	+10	
移籍補償金	210	—	△210	
その他特別利益	87	170	+83	
特別損失	3,544	4,265	+720	
減損損失	177	160	△17	
固定資産売却損	325	14	△310	
固定資産除却損	1,587	1,270	△317	
工事負担金等圧縮額	118	270	+152	
固定資産圧縮損	53	39	△13	
投資有価証券売却損	—	0	+0	
投資有価証券評価損	1,186	0	△1,186	
災害による損失	—	200	+200	
災害損失引当金繰入額	—	2,206	+2,206	
その他特別損失	96	102	+5	
税金等調整前四半期純利益	49,906	49,832	△73	



# 連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2019/3期 期末	2020/3期 3Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,728,929	1,719,644	△ 9,285	
流動資産	134,512	124,505	△ 10,006	受取手形及び売掛金 △4,958 未成工事支出金 △4,707
固定資産	1,594,417	1,595,138	+721	有形・無形固定資産 +7,797 投資有価証券 △4,064 退職給付に係る資産 △1,056
負債 合計	1,306,214	1,279,618	△ 26,595	
流動負債	367,238	346,986	△ 20,251	支払手形及び買掛金 △7,588 賞与引当金 △2,837 未払法人税等 △2,638 その他 △31,322 (設備投資未払金等の減少) 短期借入金 +13,245 前受金 +8,261 その他の引当金 +2,078 (災害損失引当金 2,206)
固定負債	938,976	932,631	△ 6,344	長期借入金 △16,553 鉄道・運輸機構長期未払金 △1,841 繰延税金負債 △1,138 社債 +10,000 リース債務 +2,722
純資産 合計	422,715	440,025	+17,310	利益剰余金 +26,446 その他有価証券評価差額金 △2,730 自己株式 △2,526 退職給付に係る調整累計額 △2,295 為替換算調整勘定 △2,055
有利子負債 期末残高	905,057	912,468	+7,410	
ネット有利子負債	878,508	886,622	+8,114	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2020年3月期 第3四半期までの主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P9
IV. 決算実績詳細	P22
<b>V. 2020年3月期 連結業績予想</b>	<b>P26</b>

# 2020年3月期通期 連結業績予想

(金額単位：億円)

	2020/3期 前回予想	2020/3期 今回予想	対前回予想	2019/3期 通期実績	対前期	
営業収益	5,844	5,738	△ 106	5,659	+78	+1.4%
営業利益	710	675	△ 35	733	△ 58	△ 8.0%
償却前営業利益	1,285	1,257	△ 28	1,273	△ 16	△ 1.3%
経常利益	627	592	△ 35	654	△ 62	△ 9.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	462	400	△ 62	454	△ 54	△ 12.0%

第3四半期までの業績や足元の動向等を踏まえ、2019年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております

■ 営業収益 5,738億円

ホテル業における団体を中心とするベースの不足や個人客の予約鈍化、新型肺炎流行に伴う予約キャンセルの影響が見込まれること、ハワイ事業において計画していた不動産売却が見送りとなったこと、ホテル・レジャー事業を中心に台風19号などの自然災害の影響があったことなどにより、前回予想から106億円下方修正

■ 営業利益 675億円

営業収益が想定を下回っていることにより、前回予想から35億円下方修正

■ 償却前営業利益 1,257億円（前回予想から28億円下方修正）

■ 経常利益 592億円（前回予想から35億円下方修正）

■ 親会社株主に帰属する当期純利益

400億円

台風19号などにより被害を受けた設備の復旧等に係る費用を特別損失に計上したことなどにより、前回予想から62億円下方修正

(注) 連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります

# 2020年3月期通期 連結業績予想

## ■ 営業収益

(金額単位：億円)

	2020/3期 前回予想	2020/3期 今回予想	対前回予想	摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因	2019/3期 通期実績	対前期	
都市交通・沿線事業	1,661	1,647	△ 14	(-) 沿線レジャー施設の夏季の天候不順の影響 (-) 10月の台風19号の影響による鉄道・バスの運休	1,630	+16	+1.0%
ホテル・レジャー事業	2,340	2,229	△ 111	(-) 団体を中心とするベースの不足、個人客の予約鈍化 (-) リゾートホテルやゴルフ場、横浜・八景島シーパラダイスにおける夏季の天候不順の影響 (-) ホテル業における外国人客の室料収入の下振れ (-) 10月の台風19号の影響によるキャンセル及び一部施設の営業休止 (-) 新型コロナウイルス流行に伴うキャンセル	2,198	+30	+1.4%
不動産事業	661	665	+4	(+) 賃貸住宅の高稼働や分譲地販売	696	△ 31	△ 4.5%
建設事業	1,086	1,137	+51	(+) 建設業において一部の土木工事が想定よりも進捗 (+) 建材の仕入販売や造園請負工事の好調	1,096	+40	+3.7%
ハワイ事業	254	224	△ 30	(-) 不動産売却の見送り	190	+33	+17.3%
その他	408	428	+20	(+) 西武ライオンズのレギュラーシーズンにおける観客動員数の増加及びクライマックスシリーズ進出	419	+8	+2.1%
調整額	△ 566	△ 592	△ 26		△ 573	△ 18	-
連結数値	5,844	5,738	△ 106		5,659	+78	+ 1.4%

# 2020年3月期通期 連結業績予想

## ■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2020/3期	2020/3期	対前回予想	摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因	2019/3期		
	前回予想	今回予想			通期実績	対前期	
都市交通・沿線事業	256	252	△ 4		270	△ 18	△ 7.0%
ホテル・レジャー事業	209	175	△ 34		197	△ 22	△ 11.4%
不動産事業	170	179	+9	(+) 水道光熱費など一部経費の下振れ	200	△ 21	△ 10.9%
建設事業	54	53	△ 1	(-) 材料費や労務費の上振れ	58	△ 5	△ 10.0%
ハワイ事業	21	5	△ 16		△ 13	+18	-
その他	△ 2	5	+7		12	△ 7	△ 60.1%
調整額	2	6	+4		6	△ 0	△ 6.4%
連結数値	710	675	△ 35		733	△ 58	△ 8.0%

## ■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2020/3期	2020/3期	対前回予想	摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因	2019/3期		
	前回予想	今回予想			通期実績	対前期	
都市交通・沿線事業	483	475	△ 8		487	△ 12	△ 2.6%
ホテル・レジャー事業	378	346	△ 32		360	△ 14	△ 4.1%
不動産事業	287	297	+10		304	△ 7	△ 2.4%
建設事業	59	58	△ 1		63	△ 5	△ 8.2%
ハワイ事業	50	32	△ 18		12	+19	+165.3%
その他	31	39	+8		43	△ 4	△ 9.6%
調整額	△ 3	10	+13		2	+7	+332.0%
連結数値	1,285	1,257	△ 28		1,273	△ 16	△ 1.3%